

【テーマ①】日常の場面で感じる「心のバリア」について

- 各委員が所属団体・事業所の活動状況などを報告し、その内容について意見交換を行い、協議会において相互理解を深めた上で、意見交換の内容を含めて市民に発信することで、心のバリアフリーの推進につなげていきます。
- ご記入いただいた意見交換用シートの内容について、内容を要約し同様の意見を集約のうえ、意見の性質や主体ごとに分類しています。
- 対象：学識経験者、公募市民を除いた委員
- 回答：事業者5名、行政4名、福祉団体6名、関係団体2名、府中市1名

		障害の社会モデルの理解	差別を行わないこと	コミュニケーションと共感
A 「心のバリア」を感じた場面	事業者	・運転士が高齢者や障害者のサポート 対応方法を詳しく知らない ・バス停到着時や左折時の音声案内に対し「 うるさい 」という意見	・車椅子用エレベーター・トイレの優先利用について案内掲示や マナー啓発実施 ・ 異常時や混雑時には優先が行き届かず 、個別に直接案内も難しい状況	
	行政	・ 健常者目線で交通環境を作りがち		・雨の中、濡れながら介助者と一緒にいる車椅子の方への 声かけを躊躇
	当事者 市民団体	・障害のある方が地域活動に参加意向を伝えたとき、「 対応がわからない 」という理由で断られた。 ・聴覚障害は見た目で分からない障害のため、 気づいてもらえない 。	・電車・バスの 思いやりゾーン を元気な若い方が利用 ・車椅子で舗道を通行中、自転車から 舌打ちされたり危険を感じる場面 ・タクシー乗り場で列の後ろを尋ねても 無視や嘲笑 ・子ども乗せ自転車やベビーカーに 冷たい視線 や「邪魔だ」という空気感 ・ベビーカー外出は段差・狭い通路・エレベーター混雑などハードルが多く、 迷惑そうな雰囲気 ・泣き止まないなどの場面や、場所や音に強く反応する子に「 しつけがなっていない 」という 視線や言葉 ・「バリアフリー設備を作ってあげた、感謝しよう」と思わせる雰囲気	・ワンオペで子連れ外出時、 周りに迷惑をかけてはいけない という気持ちによる援助依頼手控え ・インクルーシブ公園の遊具が小さい子と保護者に占有され、 車椅子の子供と一緒に遊べない状況
B 「心のバリア」に関してこれから取り組みたいこと	事業者	・遭遇研修モデルプログラム（バス編）に基づいた 研修実施 ・指導運転士がユニバーサルマナー 検定3級 を受講 ・乗務員が主体的に考えて行動できる 小集団活動 の導入	・駅利用者全体への心のバリアフリーの 理解促進 ・高齢者障害者等用施設の 適正利用を推進	
	行政	・心のバリアは「知らないこと」「慣れていないこと」から生まれる ・ まず知ること、当事者の声を聞く機会を計画	・ 偏見を排し、相手の立場を尊重した接遇 ・外見や主観ではなく 客観的事実の積み重ね で物事を判断し行動	
	当事者 市民団体	・心のバリアの根本は「知らない→怖い→関わりたくない」という連鎖 ・「 知ること」「知り合う」機会や場を計画 ・大人向け啓発だけでなく 子供の教育 も必要	・支援する・される関係ではなく、 対等な立場 として自立した社会参画を認められた存在であることを 双方が自覚 する必要 ・高齢者だからと甘えず、若い方々への 理解を深め、感謝の念で行動	・子育て世代、高齢者、障害者など地域に住むいろんな人が 気軽に顔を合わせられる場の創出 ・街中でも手話が スムーズに自然に話せる社会の創出 ・「お互いさま」と思える地域のつながり作り ・ 高齢者・障害者の意見を聞きながら柔軟な対応を検討 ・駅利用者全体への周知活動を実施
C 取組にあたっての課題点・留意点等	事業者	・運転士不足に加え、残業時間や拘束時間の条件厳格化により、 教育時間の確保が困難 ・指導・教育だけではなく 主体的な活動を採用		
	行政	・気を遣ったことで相手の気分を害する場面 ・自分の気遣いが相手や周囲への 押しつけとならないよう注意		
	当事者 市民団体	・「周りに理解してほしい」だけでなく、 自分たちも学び、譲り合い、伝える 工夫が大切 ・「わかってもらえない」と壁をつくらず、「 どうすればわかってもらえるか 」を継続検討 ・バリアフリーを「自分には関係ない特別な配慮」と捉えられがち ・「恐怖心や不自由さ」をいかに 自分事として想像 してもらえるかが課題 ・手話を学ぶだけでなく「 聴覚障害とは何か 」を 理解 してもらう取り組み必要 ・共感し合うだけでは根本的に未解決 ・通路が狭い等の環境はすぐには変えられないからこそ、声をかけ合ったり道を譲る 気づかいをどう地域に根づかせるか が課題		・重度障害児は特別支援学校在籍が多く通常学級との接点が少ない。知識だけでなく 人と人が知り合った上での理解が必要 ・どんな場面でも 支援する側とされる側のコミュニケーション が大事